

技術情報シート

1. 技術の名称	生ごみの湿式メタン発酵技術																				
2. 技術の内容	生ごみを自動選別・スラリー化・希釈し、湿式メタン発酵でバイオガスを回収し利活用する。原料は生ごみ以外に、下水汚泥等の有機性汚泥、有機性産業廃棄物も混合可能。																				
3. 技術の概要	<p>【技術の目的・用途】生ごみからバイオガスを効率的に生成させ、発生したメタンガスを発電等に有効活用する。</p> <p>【技術の特長】生ごみ中の異物は破砕分別で自動的に排除し、有機分をスラリー化して濃度調整し、35℃中温発酵槽に投入し効率よくメタン発酵する。発生したガスは、硫化水素を除去して発電等に利用する。</p> <pre> graph LR DW[Domestic Food Waste] --> R[Receiving] OS[Organic Sludge] --> R R --> P["Pretreatment Smash/Crush Automatic Sorting Disintegration Mixing & Dilution"] P --> W["Wet (35°C) Anaerobic digestion"] W --> H["H2S/Moisture Removal"] W --> D[Dewatering] H --> BU["Biogas Utilization Power Generation Gas for Sale Steam/Hot water"] D --> SD["Solid Disposal/Recycle"] D --> WT[Wastewater Treatment] </pre> <p>【実績】生ごみ・廃食品類のメタン発酵施設納入実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>顧客</th> <th>対象原料</th> <th>規模</th> <th>技術名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉県</td> <td>産廃処理業</td> <td>有機産業廃棄物</td> <td>30t/日</td> <td>湿式メタン発酵</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>農協</td> <td>食品工場廃棄物</td> <td>23t/日</td> <td>湿式メタン発酵</td> </tr> <tr> <td>新潟県</td> <td>地方自治体</td> <td>家庭/事業系生ごみ</td> <td>65t/日</td> <td>湿式メタン発酵</td> </tr> </tbody> </table> <p>【価格又はその問い合わせ先】 下記の間合先窓口・担当者へご連絡ください</p>	場所	顧客	対象原料	規模	技術名	千葉県	産廃処理業	有機産業廃棄物	30t/日	湿式メタン発酵	北海道	農協	食品工場廃棄物	23t/日	湿式メタン発酵	新潟県	地方自治体	家庭/事業系生ごみ	65t/日	湿式メタン発酵
場所	顧客	対象原料	規模	技術名																	
千葉県	産廃処理業	有機産業廃棄物	30t/日	湿式メタン発酵																	
北海道	農協	食品工場廃棄物	23t/日	湿式メタン発酵																	
新潟県	地方自治体	家庭/事業系生ごみ	65t/日	湿式メタン発酵																	
4. 技術の分類																					
①用途分類	都市ごみ処理、産業系廃棄物処理																				
②対象廃棄物	食品・生ごみ、その他(下水汚泥)																				
③提供役務	プラント建設、技術提携・供与																				
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	中国、マレーシアその他東南アジア																				
6. 検索キーワード	生ごみ、有機汚泥、メタン発酵、バイオガス、発電																				
7. 間合先窓口・担当者	<p>JFEエンジニアリング株式会社</p> <p>窓口：海外事業本部営業部 担当：黒岩 綾子 連絡先：電話 +81-3-3516-7317</p> <p>E-mail: kuroiwa-ayako@jfe-eng.co.jp</p>																				